

はねっと 10

仙台市市民活動サポートセンター 通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



一歩踏み出す気持ち芽生える「ワクワクビト」

毎日が縁日!? 地域の人々が つながる場をつくる

- ・仙台市南部拠点
地域おこし協力隊
- ・株式会社えんにちと
- ・Artist UGYAU

いわい ひろこ
岩井 寛子さん(47)



岩井さんは、地域おこし協力隊として、長町でイベント運営、各種SNSによる長町の情報発信など、地域の賑わいづくりに取り組んでいます。

仙台出身の岩井さんは高校卒業後、「アートをやるなら東京」と上京し、イラストを中心にアーティスト活動をしていました。コロナ禍で人との接触が制限されていた頃、下町のお店とコラボした時に、そのお店が人々の交流の場にもなっている様子を見て「人には縁をつなぐ縁日のような場が必要」と感じ、さらに「人の縁をつなぐ場をつくるのが好き」と自覚しました。また、展示をオンライン配信した時に「東京じゃなくてもアートはできる」と気づき、東日本大震災の時に何もできなかった後悔から「地元に貢献したい」との思いもあり、2022年にUターンしました。

たまたま募集していた協力隊の要項に「アートイベントで賑わいを」とあり、アーティストとしての経験を活かして貢献できるのではと応募。八幡地区が地元の岩井さんにとって長町はなじみがなかったものの、活動を通じて信頼を得ていきました。街の人たちと協力し、非公式キャラクター「にゃがまち」と、「ながまちカプセルトイ」を制作。カプセルトイは、長町のお店やランドマークをイラストにして、アイテム化したもので、街のことを知ってもらい、長町の人とのコミュニケーションツールとして活用してもらおうと企画しました。



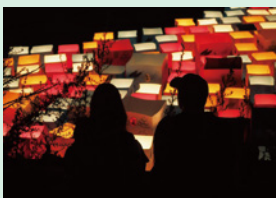
長町の商店街の人たちは、「長町は歴史ある街」と地元愛にあふれています。しかし、人口の多い地域だけに、その愛や情熱がなかなか伝わらない、広がっていかない現状があります。岩井さんは、数々の地域イベントを担う人々が頑張ってきた姿を見て「街の魅力は『こんなお店がある』とか『こんなイベントがある』ではない、『こんな人がいる』ではないか」と思うように。「地元の間人ではない私だからこそ」の視点と立場で長町の人々の魅力を伝えながら、今日もともに汗を流しています。

株式会社えんにちと

岩井さんは、地域おこし協力隊の任期を終える2025年3月を見越して、引き続き長町地域の賑わいづくりに関わっていこうと、2024年3月に株式会社「えんにちと」を設立しました。

地域おこし協力隊が、もっと地域の魅力を発信できるようにと県内各地の隊員と協力してポータルサイトやフェスの運営も担ったことから、「えんにちと」では、宮城の地域おこし協力隊のサポートも行います。

右は岩井さんが実行委員会として関わった「広瀬川灯ろう流し」と関連イベントの「ながまち駅前ピアガーデン」の様子。



▲灯ろう流し



▲ピアガーデン



◀岩井さんの
各種活動についてはこちら



市民活動団体を紹介「市民活動突撃レポート！」

子どもも大人もボードゲームで真剣勝負！

「勝った!」「これどうやって遊ぶの?」と、楽しそうな声が飛び交う部屋で、複数のテーブルに分かれた3~4人の子どもと大人がボードゲームをして遊んでいます。ここは年齢・立場にかかわらず誰でも参加できる場であり、子どもたちにとっては、初めて会う子や、親でも先生でもない大人と「遊び」を通じて対等に触れ合える場です。17年前から仙台市内の児童館や地域交流スペースなどで、この遊び場を主催してきたのが「こりれいず」(旧称:もうひとつのこどもとおとなリレーションズ)。代表の須藤達也^{すどう たつや}さんは「いろんな性質を持った他者との関わり方を学んでほしい」と話します。

ボードゲームの種類は、同じ図形を早く見つけるゲームや、リングが落ちないようにスティックを抜き取るゲームなど様々。誰かと一緒にないと遊べないことや、次に何をすれば良いかわかりやすいこと、時にはルールを変更しながら自分たちのペースで遊べるのが、自然なコミュニケーションを後押しします。ゲームに詳しくなった子どもが、初めて参加する大人に教えてあげることもしばしば。また、常連になった子どもが大人になって運営を手伝ったり、その大人を慕って来る子どもがいたり、大人も子どもも「楽しいから」参加する循環が生まれています。

子どもたちが顔見知り程度の「身近な大人」と関わる機会が少なく

なった昨今。子どもが、多様な大人の姿を見ながら生き生きと社会性を学べる場としてあり続けます。



▲開催時間内であれば、好きな時間に来て遊び、帰れる



▲たくさんゲームから好きに選べる、通称ビュッフェ形式

こりれいず



▲Instagram



▲ブログ

【次回開催】テーブルゲームであそぼう!40

日時:10月27日(日)14:00~16:00

場所:まちづくりスポット仙台

(仙台市泉区長命ヶ丘2-21-1プランチ仙台WEST内)



活動を始める一歩を応援「コトハジメ」

生ごみを資源として循環させよう

仙台市全体で出る家庭ごみ量は、約18万2千トン(令和4年度)。そのうち3割を占める生ごみは、水分を多く含むため、焼却には多くのエネルギーを必要とします。これらの生ごみを、コンポストなどを使って堆肥にリサイクルする方法を広く市民に伝え、ごみ削減に取り組めるよう働きかけているのが、仙台生ごみリサイクルネットワークです。1999年の設立以来、出前講座や実演^{とくたみのる}などを行ってきました。事務局の徳田実さんは「生ごみの削減は、市民一人ひとりの意識が必要不可欠」と話します。焼却処分だけに頼らない方法を、まずは知ることから始めてみませんか?

仙台生ごみリサイクルネットワーク 設立25周年フォーラム

日時:10月20日(日)13:30~16:00

会場:仙台市市民活動サポートセンター6階セミナーホール

内容:25周年の歩み紹介、事例紹介(古川黎明高等学校、株式会社リレーション)、意見交換・交流会



▲HP

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 10月9日(水)、23日(水)

開館時間 月曜日~土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター

(指定管理者:特定非営利活動法人
せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2024年10月1日

デザイン PEACE Inc.

[X(エックス)]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

